

足立おもしろ物づくり

あだちく すてき もの
足立区で素敵な物づくりをされているお店を都市農・工房棟チームが取材＆レポート!!

小川畳店はこんなお店

足立区東和にある小川畳店(足立ブランド認定企業)は、1970年創業の畳屋さんです。畳屋さんのそもその始まりは、戦後間もない頃、今のご店主小川崇さんのおじいさんの時代にさかのぼります。



千葉出身のおじいさんは、若い頃に北千住の畳屋さんで修行を積み、そこから独立しました。その後、小川さんのお父さんの時代に暖簾分けし、今のお店ができました。2代目ご店主の小川さんもまた、おじいさんの創業のお店で修行すると同時に、畳専門の学校で学び、技術を磨いたのです。



暖簾分けの時代がお店の神棚からも偲ばれる

畳素材のおしゃれアイテム

なかなか畳に触れる機会が少なくなった今の生活の中で、小川畳店では「畳に触れる機会を増やそう!」と、畳の素材を使った小物、今までになかったデザインの畳縁を取り入れた畳も扱っていますよ!

たたみべり せい がた
畳縁製のリボン型グローブ



和服デザイナーさんとコラボした畳縁。アフリカンテイストで斬新な仕上がりに!



ブランドロゴ「tatamiglam」

特殊な折り方の畳表と帆布のクラッチバッグ。内側には小川畳店のラベルが

畳ができるまで



専用の定規で畳のサイズを測る

畳は、畳表・畳縁・畳床からなっています。畳床は長期間もつので、普段の畳店では畳表を張り替える仕事になります。最初の作業は張替前の畳のサイズを正確に測ること。そのデータを2つの機械に送信してスタートです。



畳表 畳床

張替前の古い畳

1. 畳表の張りかえ

専用の機械を使って畳表を張りかえます。加圧して畳表を挟んでしっかり伸ばし、畳床に留めていきます。

小川畳店は、熊本県のイグサ(畳表の材料)農家さんとの繋がりが深く、品質の良い畳表を比較的安く提供できるのが強みです!



畳縁を縫い付ける「両用機」
右の畳縁は人気漫画『鬼滅の刃』の主人公、竈門炭治郎をイメージしたカラー

2. 畳縁の縫い付け

畳表を張り替えたら、機械で端の余分を切り落とし、畳縁を縫い付けて完成です。昔は太くて長い針や大きな刃物を使ってやっていた作業です。



昔ながらの道具、針を刺すために手に革製の当て物をつける



都市農でも「畳づくりワークショップ」やゴザのレンタルなどご協力いただいております。今後とも、たのしい企画を、乞うご期待!

2020年6月号(年3回発行) 発行所: 足立区都市農業公園 (取材: 梯・桑田)



【取材店商品紹介ページ】

東和 小川畳店

発行所：足立区都市農業公園（工房棟）

店舗情報

所在地：〒120-0003 東京都足立区東和 3-6-7
tel：03-3605-6285 HP：https://ogawatatami.com/
営業時間：9時～18時（日曜・祝日お休み）

tatamiglam ラインナップ **素敵な製品**

小川畳店オリジナルブランド tatamiglam の製品です！

◆たたみ縁の小銭入れ

たたみベリ
畳縁を使った小銭入れです。
赤・紺・水色・緑の4色展開。

各色 ¥1,320（税込）



◆たたみクラッチバッグ



（ストラップは別売です）



たたみおもて
畳表に帆布やデニムを
合わせたクラッチバッグ。
浴衣など、和の装いと
ベストマッチ！

- A. 小波柄 × 帆布 ¥13,860（税込）
- B. 大波柄 × デニム ¥14,300（税込）

◆ミニ畳

お気に入りの小物の台座にしたり、写真立てにしたり。色々使えるミニ畳は販売もしています！

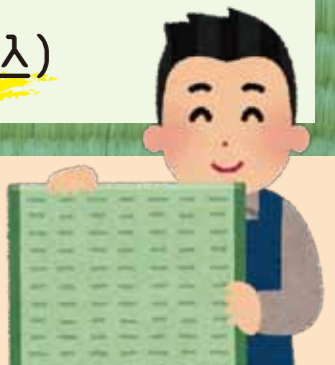
各色 ¥1,000（税込）



他にも



もちろん新しい畳の製作、古くなった畳の張り替えから刃物（包丁、ハサミなど）の研磨までやっています。気になったら是非お店を訪れてみて下さい！



たのしく
体験！！

畳ワークショップ

小さなお子さまから、大人の方まで楽しめるワークショップを展開しています。写真は都市農で開催したときの様子。



みんな真剣です！



◆イグサクラフト

置くと、辺りがイグサの優しくなつかしい香りに包まれます。畳縁のクルミ釦がアクセント。

